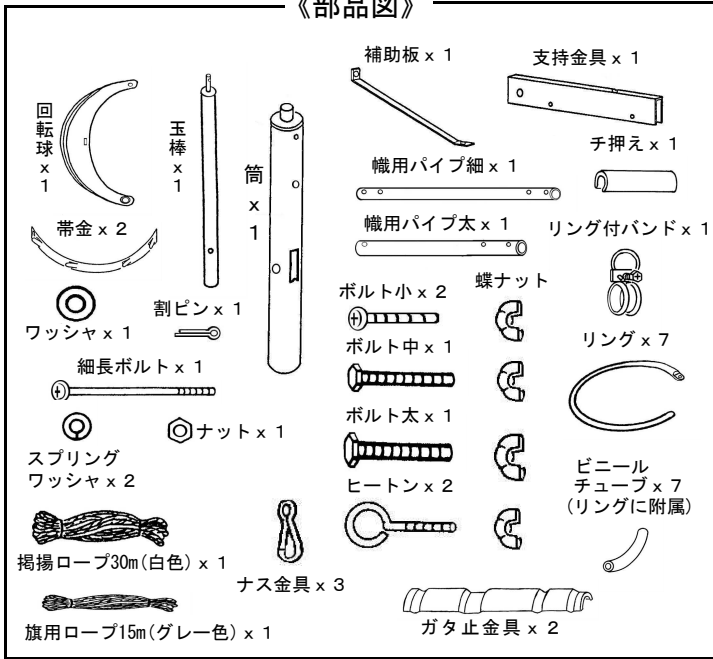


# 掲揚装置組立説明書

< B T 1 - W P 型 >

- \* 組立をする前に、必ず、この説明書を最後までお読み下さい。
- \* 警告・注意事項は厳守して下さい。
- \* 前準備として組立工具（ドライバ＋・ー／スパナ／ペンチ／手袋（滑り止付）等）をご用意下さい。

《部品図》



**注意**

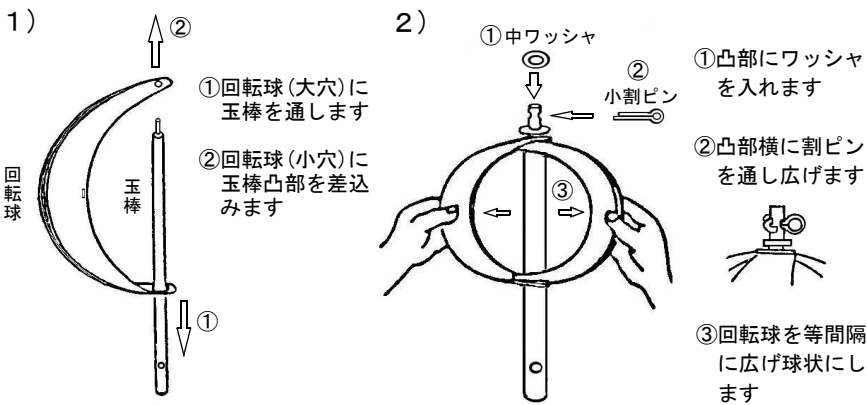
- \* 組立は手袋等（滑り止付き）を着用しケガ等なされないようご注意ください、説明書に従い確実に組付けを行って下さい。
- \* 部品を紛失しないよう袋から空箱等に入れ変えて下さい。
- \* 取降し収納する場合は、組立の逆順でおこない部品等を清掃して箱に説明書と一緒に湿気の少ない所へ保管して下さい。

**警告**

- \* 強風や突風（風速約10m以上）の時、掲揚装置や幟旗や竿が破損し落下の危険があり、速やかにご使用を中止して安全の確保をして下さい。
- \* 雨天やお出かけの場合は、ご使用をおやめ下さい。
- \* 節句時期が過ぎましたら、速やかにご使用を中止して下さい。

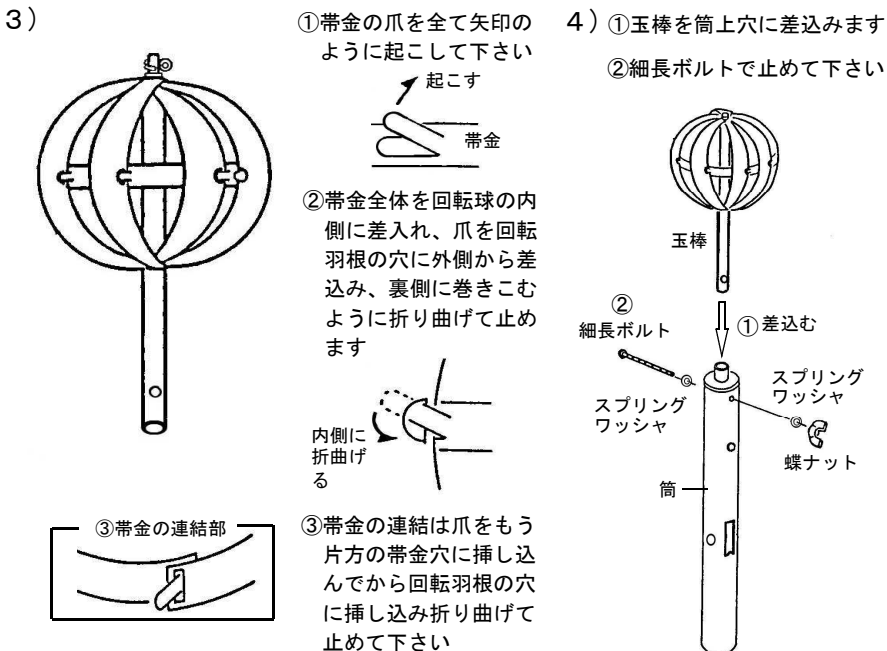
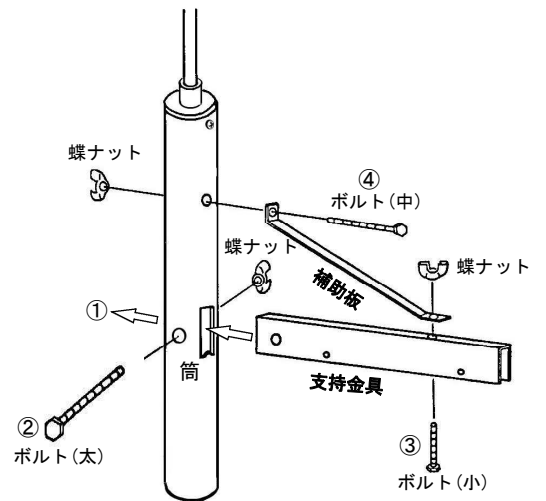
(型番 BT1-WP1201)

1・回転球の組立



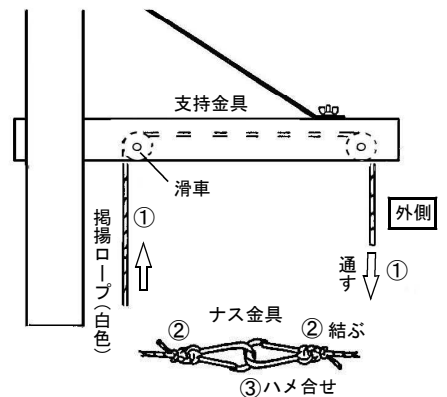
2・支持金具の取付

\* 筒に支持金具と補助板を順番に取付けて下さい



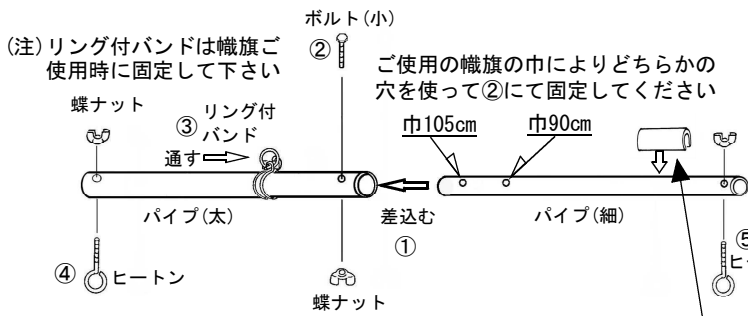
3・掲揚ロープの取付

- ①掲揚ロープ(白色)を通します
- ②ナス金具をロープ両端に結び付けます
- ③ナス金具をハメ合せてロープを環状にします



## 4・幟用パイプの組付

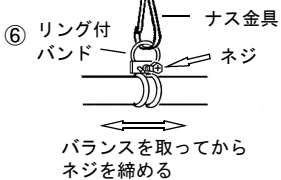
\*幟用パイプ(太)にパイプ(細)を挿し入れ、幟旗の巾にパイプをスライドさせて合せ、番号順に組付けをして下さい



◆組付けが完了したらポール(木竿)等の先端に取付てポール等の立上をして下さい。  
(\*筒は回転するよう固定はしません!)

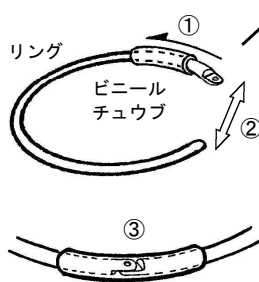
### 《★幟旗の揚げ方》

- ①幟用パイプを上側チ部に通します
- ②外チ部をチ押えにてはさみます
- ③リング付バンドに外側の掲揚ロープ(白色)のナス金具をハメ込みます
- ④もう片方の掲揚ロープ(白色)のナス金具をヒートンにハメ込みます
- ⑤旗用ロープ(グレー色)の片方をナス金具に結び、その後内側チ部の下側から上まで通してナス金具をヒートンにハメ込みます
- ⑥幟旗を揚げた時、水平になるようリング付バンドを動かしバランスをとってからバンドを固定して下さい



### 《★リングの使い方》

- ①各リングのビニールチュウブをずらしませ
- ②両端を広げポールと掲揚ロープをハサミ入れチ部上側にハメ入れませ
- ③両端凹凸部をハメ合わせビニールチュウブをかぶせて下さい



- ④掲揚ロープ(ポール側)を引下げながら幟旗を揚げリングを取付けて下さい

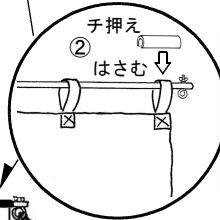
## 【完成図>(\* Y s 幟用ポールの場合)】

※ポールの種類やメーカーにより仕様が異なります

\*筒がガタつきが多い場合は、ガタ止金具をご使用下さい。(次ページ参照)

\*ポールの組立方はポールの説明書にしたがって下さい

チ押えはパイプ(細)の方にご使用ください



※小旗は種類やメーカーにより付属しない物があります

\*チ部の数は幟旗のサイズにより異なります

幟旗

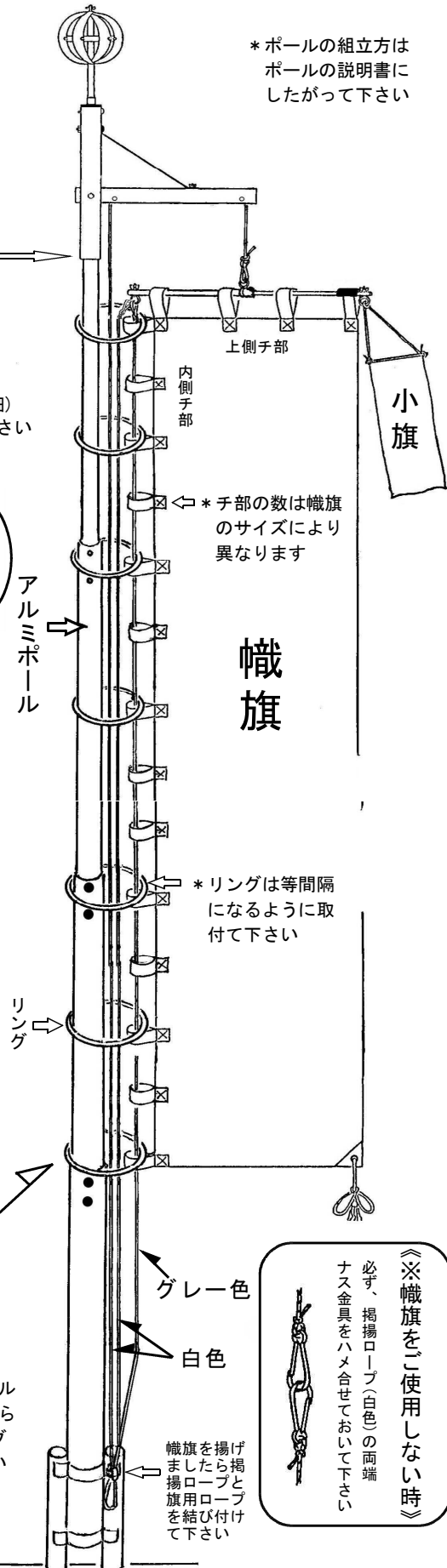
\*リングは等間隔になるように取付けて下さい

グレー色

白色

幟旗を揚げましたら掲揚ロープと旗用ロープを結び付けて下さい

《※幟旗をご使用しない時》  
必ず、掲揚ロープ(白色)の両端ナス金具をハメ合せておいて下さい

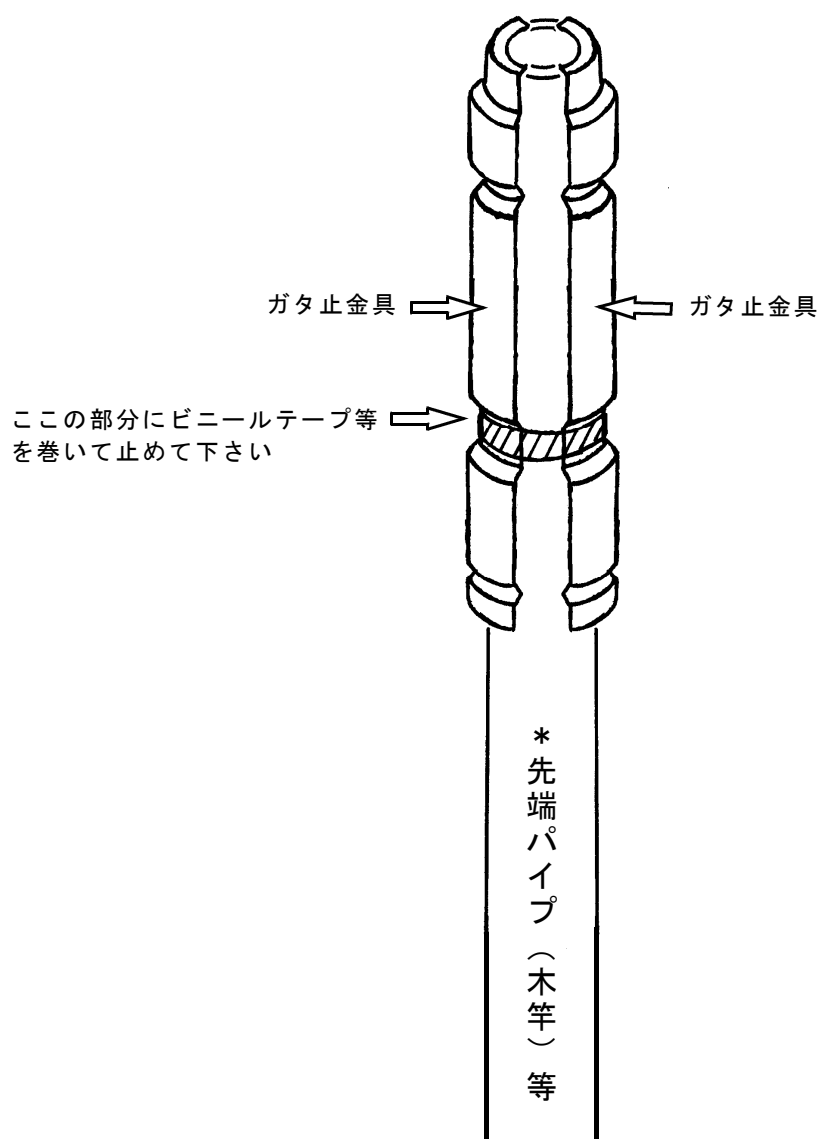


## 【ガタ止金具について】

\* 掲揚装置の筒内径より、ご使用するポールの先端パイプ又は木竿等の先端の外径が小さくガタツキが大きい場合にご使用下さい。

### < \* ご使用方法 >

パイプ（木竿等）の先端にガタ止金具を抱合わせ、ビニールテープやヒモ等を下図の溝部に巻いて止めて下さい。



※製品の仕様は改良の為、予告なく変更する場合がございます。

本製品につきましてご不明な事がございましたら、製品名を確認のうえ、  
(株)ワイエスヤマザキ お客様センターにお問合せください。

お客様センター 0276-45-5005